

(財政事情の公表)

平成26年度 予算の概要
平成25年度 下半期財政運営状況

平成26年5月30日

総社市総務部財政課

平成26年度総社市当初予算の概要

(単位：千円, %)

区 分		平成26年度 (a)	平成25年度 (b)	増減 (a)-(b)	伸率 (a)-(b)/(b)
一	般 会 計	27,560,000	25,320,000	2,240,000	8.8
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	7,110,000	6,860,000	250,000	3.6
	後 期 高 齢 者 医 療	710,000	684,000	26,000	3.8
	介 護 保 険	5,212,000	4,960,000	252,000	5.1
	農 業 集 落 排 水 事 業 費	337,000	314,000	23,000	7.3
	公 共 下 水 道 事 業 費	2,060,000	1,983,000	77,000	3.9
	国 民 宿 舎 事 業 費	690,000	715,000	△ 25,000	△ 3.5
	総社駅南地区土地区画整理事業費	582,000	785,000	△ 203,000	△ 25.9
	小 計	16,701,000	16,301,000	400,000	2.5
公 営 企 業 会 計	水 道 事 業	2,036,700	1,778,100	258,600	14.5
	工 業 用 水 道 事 業	94,400	43,750	50,650	115.8
	小 計	2,131,100	1,821,850	309,250	17.0
合 計		46,392,100	43,442,850	2,949,250	6.8

◎平成26年度一般会計当初予算の概要

○ 予算規模等

一般会計の総額としては、学校施設の耐震化や一般廃棄物最終処分場の建設など、必要とされる新たな社会基盤の整備や消費増税の影響緩和のための臨時的な給付措置等のため、大幅に増加しています。そのため、市債の増加発行や基金の取り崩しによって財源を確保している状況です。

しかしながら、このような状況におきましても、「地域密着」、「子育て」、「社会的弱者」、「人材育成」などに関わる分野については、重点的な予算配分を行いました。

また、総社の魅力を広く発信するため、「そうじゃ吉備路マラソン」、「総社芸術祭」などに引き続き取り組むほか、独自性を持って活動できるよう地域に交付する「地域づくり一括交付金」の創設、昭和地区等における幼小中一貫した英語教育の推進等新たな施策を実施してまいります。

○ 主な事業

(※の事業は新規事業)

(単位：千円)

	平成26年度	(平成25年度)
1 一般廃棄物最終処分場建設事業	1,300,000	(73,500)
2 総社市新生活交通事業	70,192	(67,962)
3 防犯灯設置事業	15,000	(500)
※ 4 地域づくり一括交付金	31,900	(0)
5 そうじゃ吉備路マラソン大会経費	22,344	(18,300)
6 障害者自立支援福祉サービス給付等事業	801,930	(704,233)
7 障がい者千人雇用事業	19,607	(14,592)
8 小児医療費	240,000	(240,000)
9 企業誘致対策費	41,715	(6,934)
10 清音神在本線改良事業	1,214,242	(1,128,258)
11 消防救急無線デジタル無線システム整備事業	597,000	(65,000)
※ 12 学校一括交付金	43,300	(0)
13 小中学校校舎耐震化等改築事業	1,126,315	(903,225)
14 中学校エアコン整備事業	48,700	(12,440)
15 学校力向上教員加配事業	140,351	(137,098)
※ 16 昭和地区等英語教育推進事業	28,527	(0)
17 久代分館移転新築整備事業	140,575	(86,675)
18 総社芸術祭開催経費	5,500	(5,500)
※ 19 臨時福祉給付金給付事業	157,549	(0)
※ 20 子育て世帯臨時特例給付金給付事業	92,356	(0)

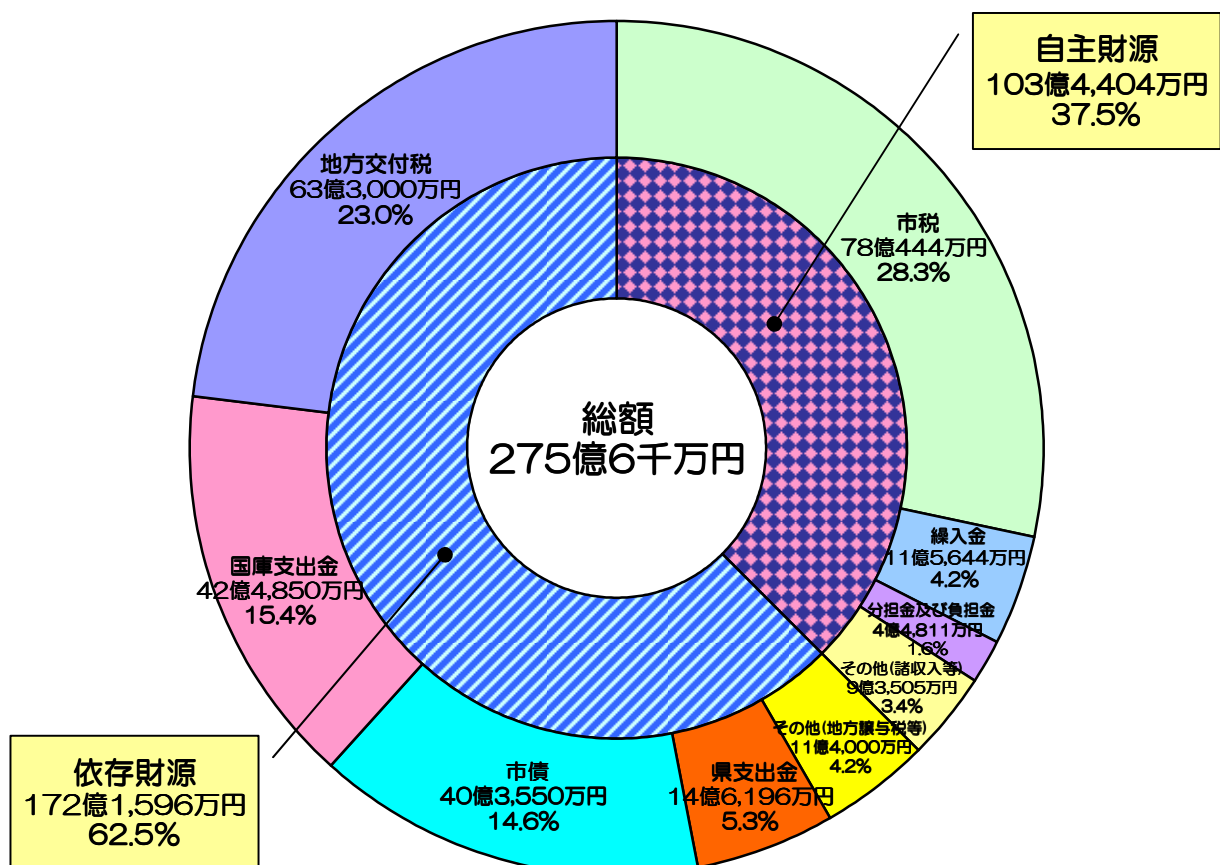
歳入の概要（一般会計）

● 歳入の概要（単位：千円、％）

区 分	内 容	平成26年度	
		予算額	構成比
市 税	市民税(個人・法人)、固定資産税(土地・家屋・償却資産)、都市計画税など	7,804,435	28.3
繰 入 金	特別会計や基金からの繰入金	1,156,442	4.2
分担金及び負担金	市の行う事業により利益を受けるものから、その受益を限度として徴収する保育所入所費負担金、老人保護措置費負担金など	448,114	1.6
そ の 他	諸収入、使用料及び手数料など	935,052	3.4
自主財源 小計		10,344,043	37.5
地 方 交 付 税	地方公共団体間の財源の不均衡を調整するため、財政状況に応じて交付される税	6,330,000	23.0
国 庫 支 出 金	市が行う特定の事務・事業に対して国が支払う負担金、補助金、交付金など	4,248,497	15.4
市 債	公共施設整備などのために市が国や金融機関から長期的に借り入れる資金	4,035,500	14.6
県 支 出 金	市が行う特定の事務・事業に対して県が支払う負担金、補助金、交付金など	1,461,960	5.3
そ の 他	国税の一部が市道延長・面積等によって譲与される地方譲与税や恒久的な減税に伴う地方税の減収を補填するための地方特例交付金など	1,140,000	4.1
依存財源 小計		17,215,957	62.5
合 計		27,560,000	100.0

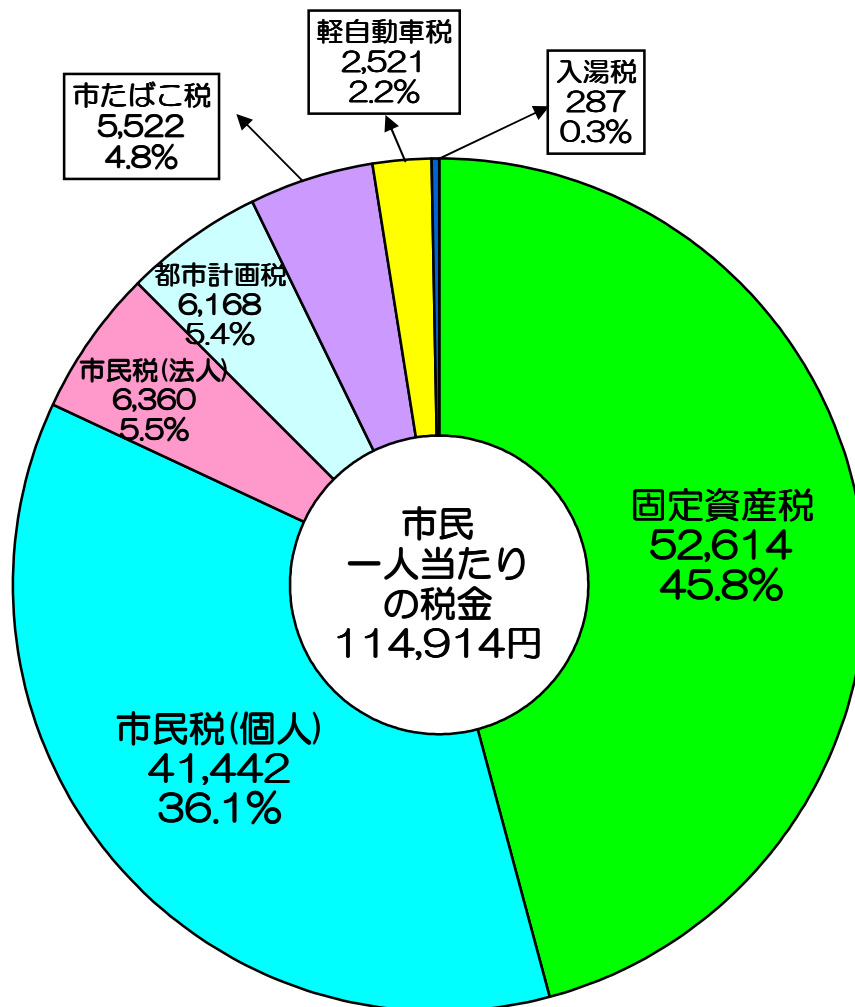
自主財源…市が自主的に得られる財源（市税や施設の使用料、証明書等発行の手数料、事業の分担金）

依存財源…国や県の基準に基づいて交付される財源（地方交付税、国や県からの補助金、市債）



●市税収入の内訳

	市全体		市民一人あたり (円)	一世帯あたり (円)	備考
	金額(千円)	構成比(%)			
固定資産税	3,563,630	45.8	52,614	140,014	人口：67,731人 世帯：25,452世帯 平成26年3月31日現在
市民税(個人)	2,806,930	36.1	41,442	110,283	
市民税(法人)	430,750	5.5	6,360	16,924	
都市計画税	417,760	5.4	6,168	16,414	
市たばこ税	374,000	4.8	5,522	14,694	
軽自動車税	170,724	2.2	2,521	6,708	
入湯税	19,464	0.3	287	765	
合計	7,783,258	100.0	114,914	305,801	



歳出の概要（一般会計）

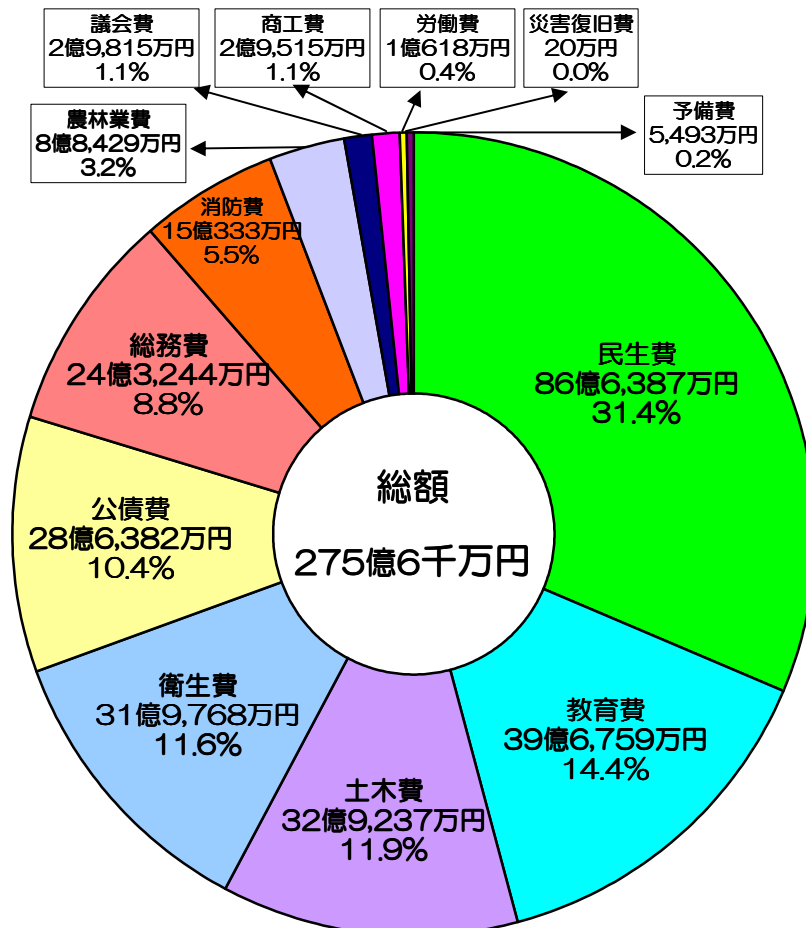
● 歳出の概要

◆ 目的別決算の内訳（単位：千円、％）

科 目	内 容	平成26年度	
		予算額	構成比
民 生 費	高齢者、障がい者の福祉サービス、子育て支援や保育所の運営	8,663,873	31.4
教 育 費	幼稚園や小中学校などの維持管理や文化・スポーツの振興	3,967,593	14.4
土 木 費	道路、河川などの社会資本整備や維持管理	3,292,372	11.9
衛 生 費	健康増進、疾病予防や環境保全、ごみ処理	3,197,683	11.6
公 債 費	借り入れた市債の元金や利子の返済	2,863,821	10.4
総 務 費	行政全般の事務管理、税の徴収や戸籍管理	2,432,437	8.8
消 防 費	消防や火災予防、水防などの災害対策	1,503,330	5.5
農 林 業 費	農林業の振興支援や生産基盤の整備	884,292	3.2
議 会 費	議会運営	298,147	1.1
商 工 費	商工業や観光の振興	295,145	1.1
労 働 費	雇用対策や勤労者の支援	106,177	0.4
災 害 復 旧 費	災害時の復旧事業	200	0.0
予 備 費	予算編成の際、予期しなかった予算外の支出に対応するもの	54,930	0.2
歳 出 合 計		27,560,000	100.0

市民一人当たりの経費 406,904円

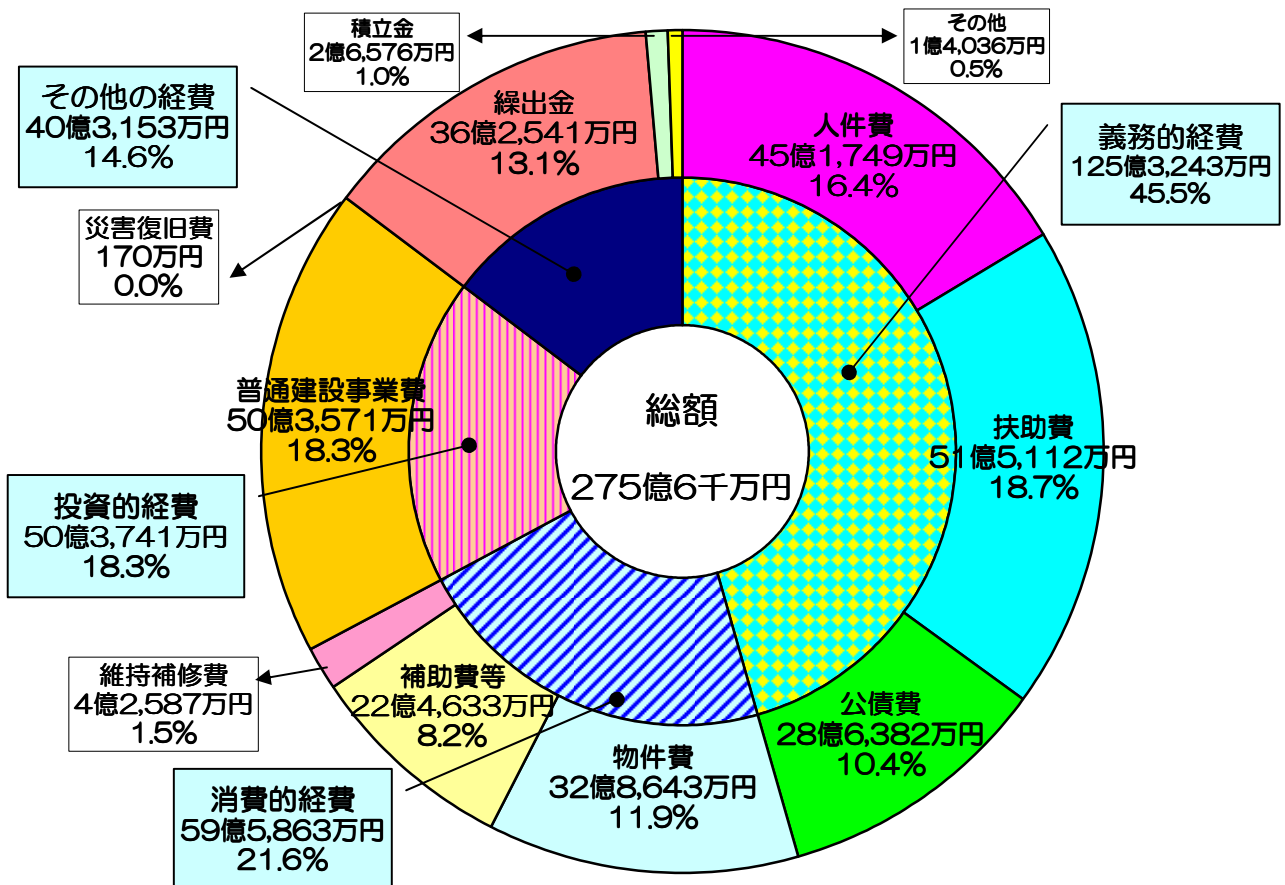
福祉や保育からなる民生費が全体の31.4%を占め、最も大きな割合となっています。次いで教育費が14.4%を占めています。



◆ 性質別予算の内訳（単位：千円、％）

区 分	内 容	平成26年度	
		予算額	構成比
人 件 費	職員の給与や退職金、議員や非常勤職員の報酬など	4,517,483	16.4
扶 助 費	児童手当や小児医療費助成などの児童支援、生活困窮者や高齢者の支援	5,151,119	18.7
公 債 費	借り入れた市債の元金や利子の返済	2,863,821	10.4
義務的経費 小計		12,532,423	45.5
物 件 費	消費的性質を有する経費で賃金、旅費、需用費、役務費など	3,286,429	11.9
補 助 費 等	市から団体や個人に対して、行政上の目的により交付する現金的給付で、報償費、負担金、補助金及び交付金など	2,246,331	8.2
維持補修費	市が管理する道路や公共施設を維持するための費用	425,873	1.5
消費的経費 小計		5,958,633	21.6
普通建設事業費	道路の整備、小中学校やその他公共施設の建設や改修	5,035,711	18.3
災 害 復 旧 費	大雨などの異常天候の災害により被災した施設の復旧	1,700	0.0
投資的経費 小計		5,037,411	18.3
繰 出 金	一般会計と特別会計との間での資金運用	3,625,409	13.1
積 立 金	年度間の財源変動に備え、積み立てるもの	265,761	1.0
そ の 他	投資及び出資金、貸付金、予備費	140,363	0.5
その他の経費 小計		4,031,533	14.6
歳 出 合 計		27,560,000	100.0

義務的経費が全体の45.5%を占めています。義務的経費は支出が義務付けられ、任意に削減できないことから、この割合が多くなるほど財政の硬直化が進みます。



平成 25 年度下半期の財政事情

○ 平成 25 年度下半期の我が国の経済は、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」による一体的な取組の政策効果から、消費等の内需を中心として景気回復の動きが広がり、また、企業収益の増加から、設備投資が持ち直し、雇用・所得環境が改善してきています。

しかしながら、地域の隅々まで効果がいき渡っていないといった声も聞かれ、消費税率引上げによる景気の下振れリスクも懸念されるところです。

地方財政においては、社会保障関係費の増大、過去の借入金の償還費が高い水準で推移すること等により、**依然として厳しい財政状況が続いて**おります。

○ このような状況のなか、本市においては、行政改革大綱に基づき、行財政改革に取り組むことにより、**歳出の徹底的な見直し**を行うと同時に、可能な限り、「子育て」や「社会的弱者対策」、「人材育成」など**市民生活に密着した分野へ予算を重点的に配分**し、地域主義の充実を図ってまいりました。また、歳入面においても、市税等の自主財源の確保に向けて、企業誘致や徴収実績の向上に積極的に取り組むなど、歳入・歳出の両面にわたり、**早期の財政健全化**に努めたところであります。

○ 依然として、厳しい財政状況は続いておりますが、第 1 次総社市総合計画後期基本計画に定めました「未来へつなぐ 人の絆 地域の絆」を基本方針とし、本市の将来都市像である【地域・文化・自然が支える心豊かな生活交流都市】の実現のため、市民と行政の協働による**わたしたちが考え、わたしたちが実行していくまちづくり**に引き続き取り組んでまいります。

平成25年度下半期財政運営の状況

■各会計予算の執行状況（平成26年3月31日現在）

（単位 千円）

区 分	予算現額	収入		支出		
		収入済額	収納率	支出済額	支出率	
一 般 会 計	25,479,400	22,545,022	88.5%	18,569,309	72.9%	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	7,033,350	5,962,231	84.8%	6,338,507	90.1%
	後 期 高 齢 者 医 療	695,618	673,402	96.8%	630,299	90.6%
	介 護 保 険	5,070,176	4,003,759	79.0%	4,525,159	89.3%
	農 業 集 落 排 水 事 業 費	314,000	77,272	24.6%	274,595	87.5%
	公 共 下 水 道 事 業 費	1,905,000	860,961	45.2%	1,672,653	87.8%
	国 民 宿 舎 事 業 費	715,195	538,490	75.3%	678,589	94.9%
	総社駅南地区土地区画整理事業費	860,063	164,187	19.1%	426,065	49.5%

※出納閉鎖(5月31日)までには、収納率は、ほぼ100%に達する見込みです。

■市有財産の状況（平成26年3月31日現在）

区 分		現在高
公 有 財 産	土 地	4,657,882㎡
	建 物	256,919㎡
	山 林	1,599,708㎡
	有 価 証 券	255,206千円
	出 資 に よ る 権 利	3,368,012千円
債 権		273,235千円
基 金	財 政 調 整 基 金	3,048,281千円
	減 債 基 金	857,773千円
	職 員 退 職 手 当 基 金	763,643千円
	ま ち づ ぐ り 基 金	201,001千円
	総社駅南地区土地区画整理事業基金	175,166千円
	小 計（以上5基金）	5,045,864千円
	そ の 他 特 定 目 的 基 金	3,530,232千円
	計	8,576,096千円
	国 民 健 康 保 険 事 業 基 金	384,132千円
	介 護 給 付 費 準 備 基 金	567,340千円
	国 民 宿 舎 運 営 基 金	122,639千円
公 共 下 水 道 事 業 基 金	357,775千円	
土 地 開 発 基 金	2,319千円	
合 計	10,010,301千円	

■一時借入金の現在高（平成26年3月31日現在）

（単位 千円）

会計区分	予算で定めた限度額	現在高
一般会計	4,000,000	0
国民健康保険特別会計	100,000	0
介護保険特別会計	100,000	0

■基金繰替運用の状況（平成26年3月31日現在）

（単位 千円）

区分	繰替運用金
財政調整基金	0
減債基金	0
職員退職手当基金	0

※基金繰替運用とは、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することです。

■債務負担行為の状況（平成26年度当初予算）

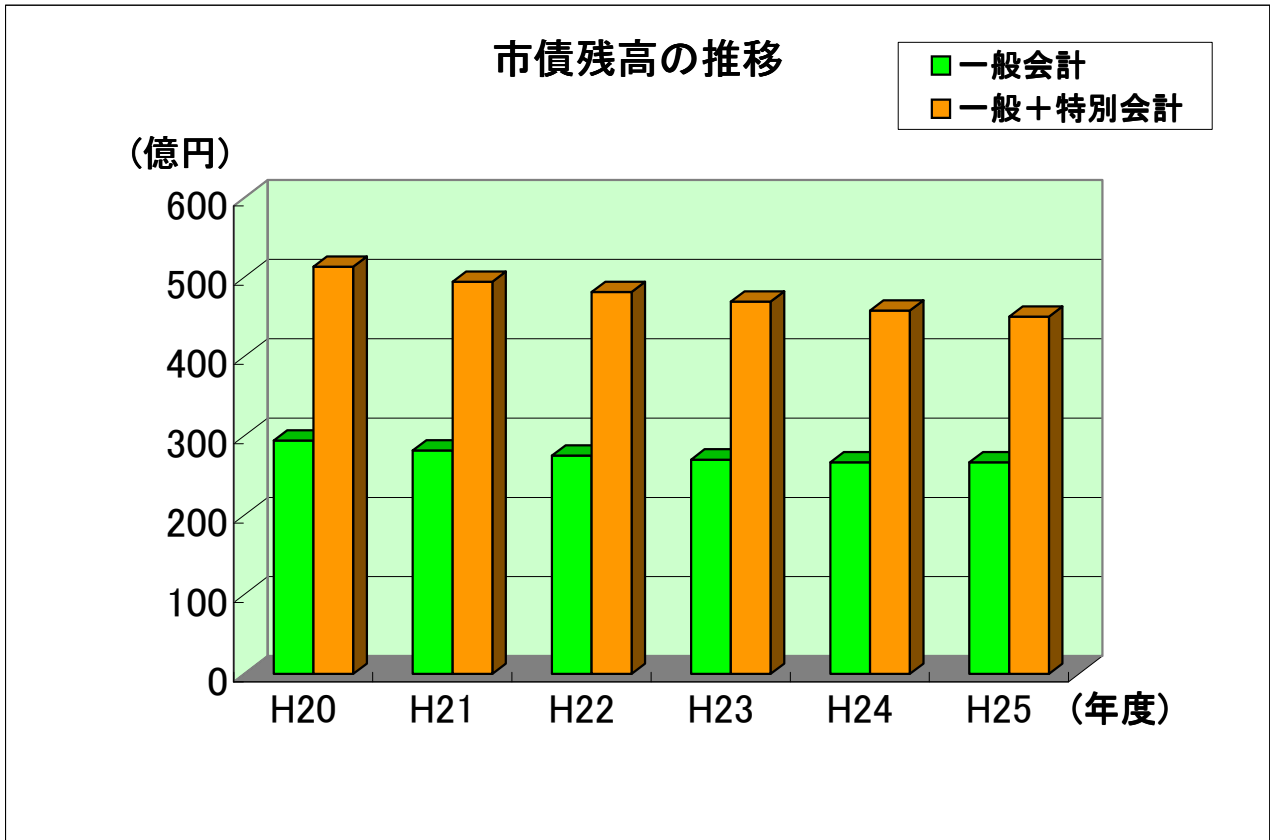
（一般会計）

（単位 千円）

科目	件数	限度額	当該年度以降の 支出予定額
総務費	8	29,357	26,563
民生費	2	583,495	476,847
農林業費	158	2,174,171	1,070,375
商工費	1	30,300	18,180
土木費	1	10,000	10,000
教育費	5	2,211,763	2,008,563
合計	175	5,039,086	3,610,528

※限度額が文言等で記載されているもの

- ・ 農業近代化資金利子補給ほか 4 件
- ・ 損失補償に関するもの 1 件



市債の現在高見込額(平成25年度末見込)

(一般会計)

区 分	現在高 (千円)
臨時財政対策債	10,985,367
土木債	5,051,528
合併特例債	3,738,056
教育債	2,311,923
水道企業団出資債	2,024,201
減税補てん債	584,143
民生債	415,839
地域総合整備貸付資金債	350,002
消防債	318,097
農林業債	290,621
コミュニティ施設整備事業債	247,958
商工債	170,094
その他	193,331
合計	26,681,160

(特別会計)

区 分	現在高 (千円)
公共下水道	12,289,171
駅南地区土地区画整理	3,242,314
農業集落排水	1,777,335
国民宿舎	1,056,375
合計	18,365,195